



【宮古盛岡横断道路（宮古箱石道路）】

ひきめはらたいこうく
墓目腹帯工区で最初のトンネル安全祈願祭を開催

～ 10月21日（水）に腹帯地区道路工事の安全祈願祭を開催 ～

宮古箱石道路（復興支援道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして1日も早い完成を目指し、従来にないスピードで事業を進めているところです。

このたび、宮古箱石道路の墓目腹帯工区で初めてとなるトンネル工事「（仮）腹帯（はらたい）第2トンネル（延長577m）」に本格着手することとなりました。

つきましては、被災地の一日も早い復興と工事の安全を祈念して、安全祈願祭を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

- 日時 : 平成27年10月21日(水) 9:45から(約2時間)
- 場所 : 宮古市腹帯地内…別紙-1(案内図)参照
- 主催 : (施工者)大豊・佐田特定建設工事共同企業体
- 安全祈願祭の概要
 - ・神事
 - ・発注者挨拶(三陸国道事務所長)
 - ・来賓祝辞
 - ・鍬入れ
 - ・茂市鹿子踊保存会による「茂市鹿子踊り」の披露
 - ・宮古市立茂市小学校児童による「さんさ踊り」の披露
- 事業概要 : 別紙-2
- 工事概要 : 別紙-3
- その他 : 雨天の場合も実施します。

《発表記者会：岩手県政記者クラブ、宮古記者クラブ、東北専門記者クラブ》

問い合わせ先

【今回の式典や施工内容に関する問い合わせ】

○国道106号 腹帯地区道路工事

大豊・佐田特定建設工事共同企業体 腹帯トンネル作業所

〒028-2103 宮古市腹帯第1地割 28-1

所長 ヒラオカ 平岡 ハジメ 元 電話0193-79-1855

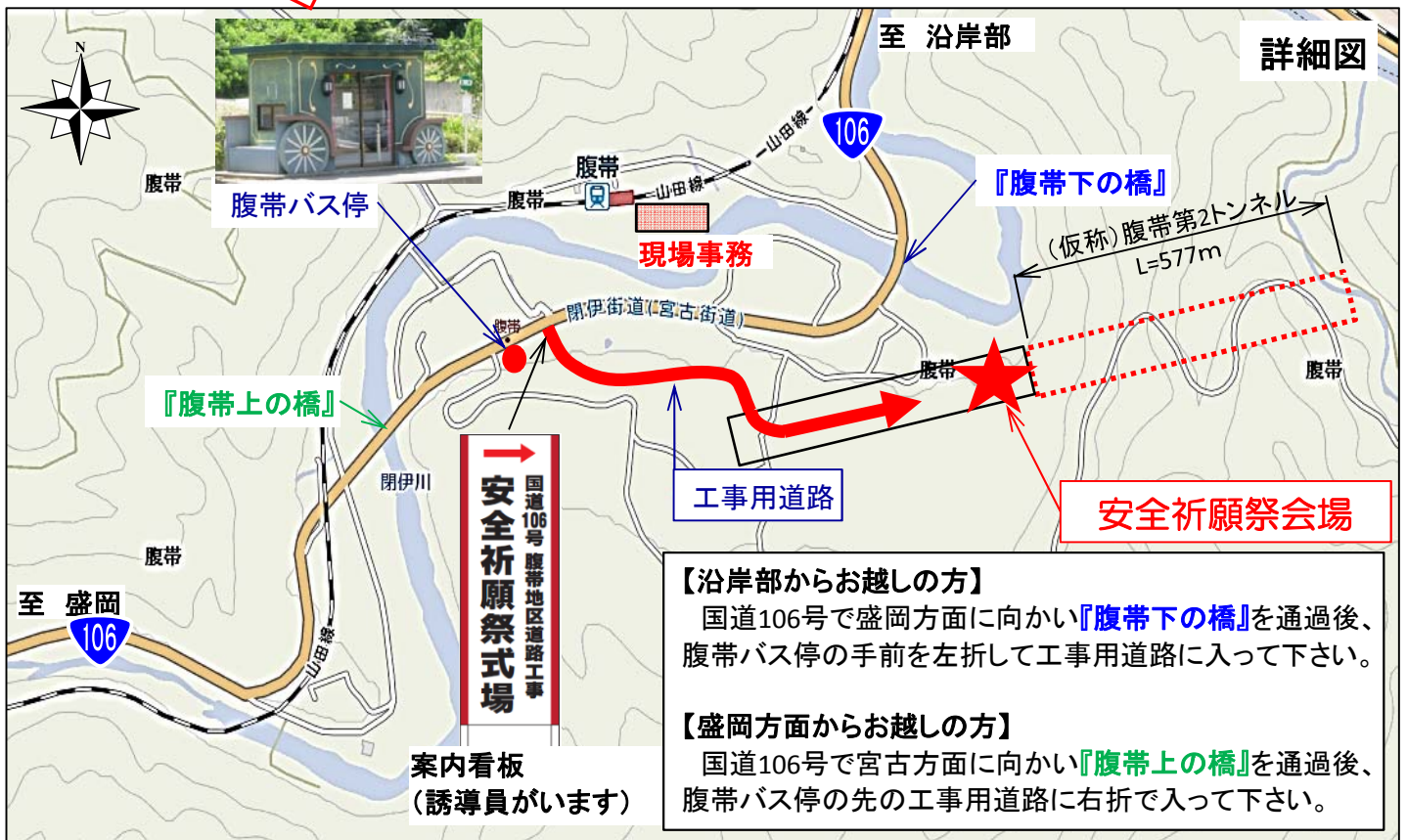
【事業に関する問い合わせ】

○国土交通省 東北地方整備局 三陸国道事務所

副所長 ヒラオカ 平岡 ヒロシ 弘志 (内線204) 電話0193-62-1711 (代表)

工務第一課 ケンセツ カントクカン 建設監督官 ショウジ 庄司 アキラ 彰 (内線504)

【国道106号 腹帯地区道路工事 安全祈願祭 会場案内図】



現場事務所 〒028-2103
岩手県宮古市腹帯第一地割28-1

大豊・佐田特定建設工事共同企業体
TEL:0193-79-1855
FAX:0193-79-1856

宮古箱石道路（宮古～箱石） L = 33 km

路線概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ全長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路(宮古～箱石)」は宮古市藤原から箱石間の約33kmにおいて、岩手県より権限代行で整備する区間です。

国道106号の線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに、所要時間の短縮により県都盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

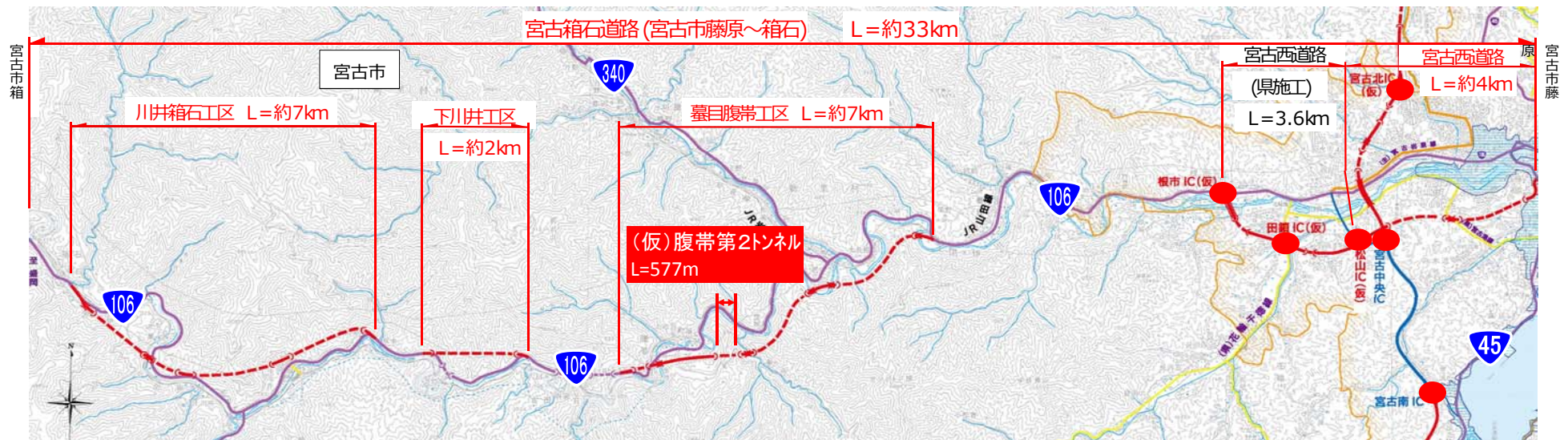
平成27年度は、用地買収も概ね終了し、本格的に、改良工事、橋梁工事、トンネル工事を進めて行きます。

計画諸元

宮古箱石道路(宮古～箱石)	
起 点	宮古市藤原
終 点	宮古市箱石
延 長	33km
工 区	(宮古西道路)※国地工分 (宮古藤原工区、下川井工区、川井箱石工区)
幅 員	2車線 13.5m 2車線 12.0m
構造規格	第1種第3級 第3種第2級
設計速度	80km/h 60km/h



久慈方面から松山IC(仮)付近を望む



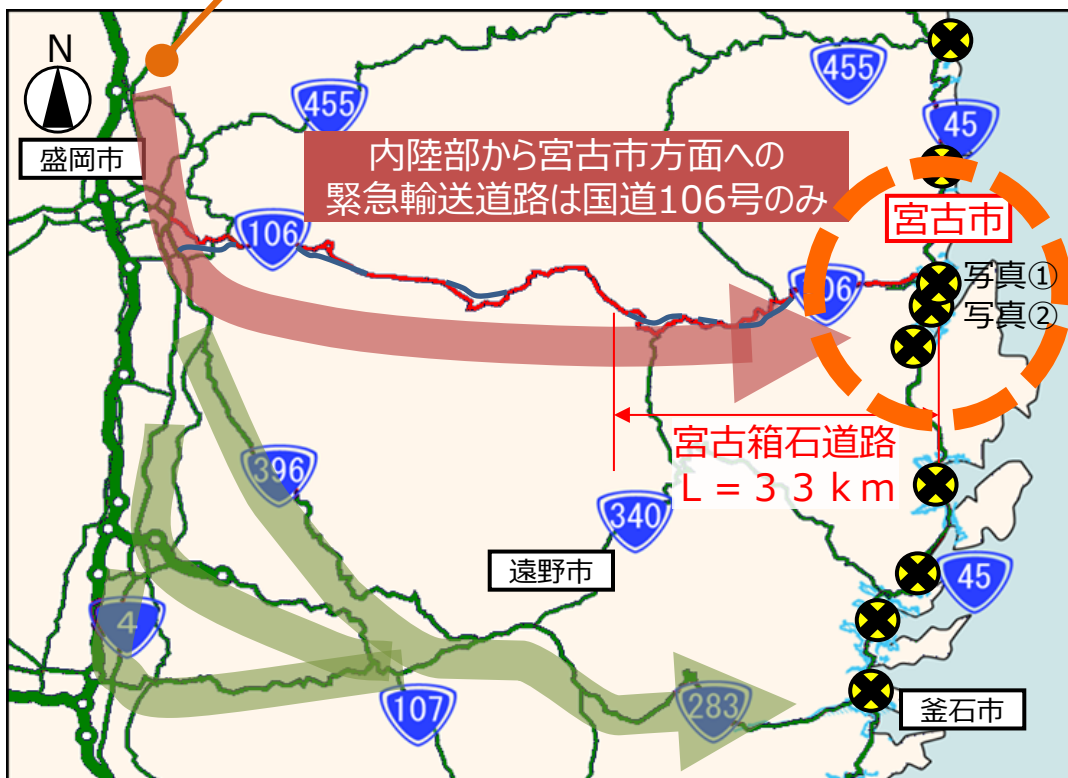
災害時における緊急輸送路の確保

- 東日本大震災では、津波被害により幹線道路の一部が被災し、多くの箇所で通行止めが発生
- 宮古箱石道路は、大規模災害時の緊急物資輸送や迅速な復旧活動を支援

▼三陸沿岸地域への緊急輸送道路

岩手県の緊急支援物資物流拠点（滝沢市）

国道106号 救援支援物資輸送612回
3月12日～4月末：県トラック協会契約分



- ⊗ : 震災時の津波による通行止め箇所
- 〰 : 震災時の津波浸水箇所

▼津波により寸断された国道

写真① 宮古市愛宕交差点



写真② 宮古市磯鶏地区



迅速な救急搬送で安全・安心な住民生活に寄与

- 宮古地域の管外搬送の約95%は、盛岡市内の高度医療施設へ救急搬送
- 宮古箱石道路は、迅速かつ安定的な救急搬送を実現し、安全・安心な住民生活に寄与

▼ 国道106号は線形不良箇所（急カーブ等）が多い

全面通行止（過去10年間）

回数： 17回
合計時間： 112時間



宮古～箱石区間の国道106号

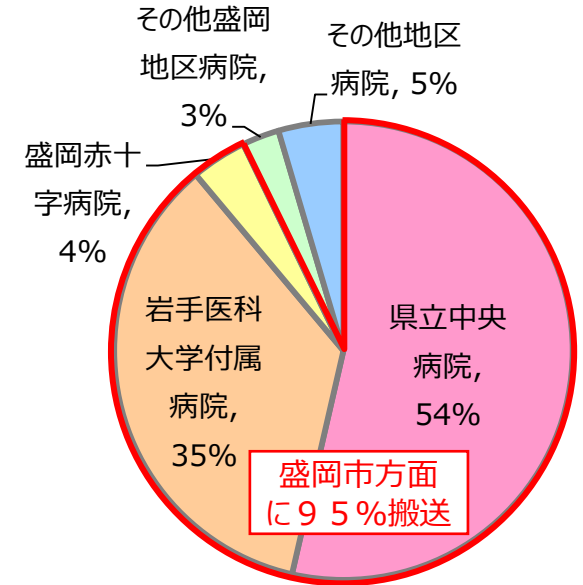
急カーブ箇所
(R<150m)
14箇所



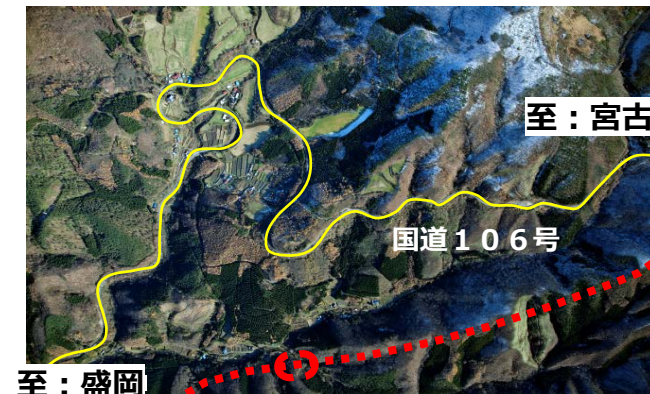
宮古箱石道路

急カーブ箇所
(R<150m)
0箇所

▼ 宮古地域の管外搬送状況



▼ 区界地区の急カーブ状況



新たな観光ルート誕生で観光振興に期待

- 三陸沿岸地域は、ジオパーク、復興国立公園に指定され、魅力的な観光資源が数多く点在
- 宮古盛岡横断道路の整備で、高規格道路による広域周遊ルートが形成され観光振興に期待

内陸の観光地



八幡平（八幡平市）
入込客数186万人/年



遠野盆地（遠野市）
入込客数154万人/年



展勝地（北上市）
入込客数77万人/年

世界遺産 平泉（平泉町）
入込客数208万人/年



中尊寺



毛越寺



三陸復興国立公園

浄土ヶ浜
(宮古市)



船越半島大釜崎
(山田町)



基石海岸
(大船渡市)

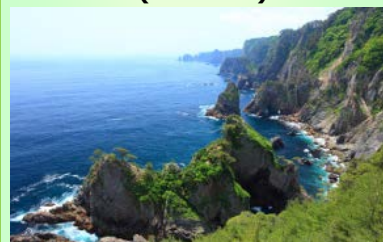


三陸ジオパーク

小袖海岸
(久慈市)



北山崎
(田野畑村)



龍泉洞
(岩泉町)



国道106号 腹帯地区道路工事

復興支援道路 宮古盛岡横断道路



大豊・佐田特定建設共同企業体

大豊建設株式会社 ◆ 佐田建設株式会社

【工事概要】

工事件名 : 国道106号 腹帯地区道路工事
 工事場所 : 岩手県宮古市腹帯地内
 工期 : 平成26年12月 3日 ~ 平成29年6月30日
 発注者 : 国土交通省東北地方整備局
 受注者 : 大豊・佐田特定建設共同企業体

宮古箱石道路は、宮古市から盛岡市までの地域高規格道路（国道106号）で、東日本大震災を機に「復興支援道路」と位置付けられ、沿岸と内陸との強力な連携を促進することにより、被災地の早期復興を支援することを目的として整備されています。

【工事内容】

(仮称) 腹帯第2トンネル 延長 577m (内空断面積 約88㎡)
 (仮称) 腹帯第3トンネル 延長 283m (内空断面積 約87㎡)
 (仮称) 腹帯橋 橋台 2基 (A1、A2)、橋脚 3基 (P1、P2、P3)

(仮称) 腹帯第2トンネル (終点) 完成イメージ



(仮称) 腹帯橋完成イメージ



(仮称) 腹帯第3トンネル (終点) 完成イメージ

